HIGH QUALITY RADAR DETECTOR
ADVANCED WARNING SYSTEM
FOR MOTORCYCLE

VZ-400

オートバイ専用レーダー探知機

取扱説明書

TANAX

2303000

適　合	バッテリー12V車　全車種に取付可能

この度はVZ-400をお買い上げ頂きありがとうございます。
本取扱説明書におきましては、安全にお使いいただくため、下記のように表示を定めております。
内容をよく理解されてから製品をご利用ください。また、この取扱説明書は常にお手元に保管くださいますようお願い申し上げます。

⚠注意　この表示の内容を守らないと、ケガや車両に損害を与える事があります。

目　次

1　仕　　様
2　特　　長
3　部品構成と各部の名称
4　取付方法
　①配線方法
　②センサーボックスの取り付け
　③ワーニングボックスの取り付け
　④レシーバー取り付けと使用方法
5　使用方法
6　補修パーツの紹介
7　連絡先
8　保証について

1　仕様

センサーボックス

電　　源	：DC12V
周　波　数	：10,525GHZ　Xバンド
作動温度範囲	：−20℃〜+80℃
消　費　電　流	：ON＝160mA 警告時＝200mA OFF＝0.5mA
センサーボックス大きさ	：幅65×奥行58×高さ20mm
ワーニングボックス大きさ	：幅16×奥行42×高さ28mm
レシーバーの大きさ	：幅30×奥行47×高さ11mm
警　告　方　式	：L.E.D.による光の警告 レシーバーによる音の警告

レシーバー

電　　池	：CR2032
消　費　電　流	：受信時／3mA
連続使用時間	：約70H（ATモード未使用）
使　用　範　囲	：センサーボックスより1m以内

注）仕様につきましては、改善の為予告なく変更する事がございます。

2　特長

超小型・セパレートタイプのオートバイ専用設計！

●センサー部が小さく、取り付けが容易です。(専用ステー2種類付属)
●高輝度L.E.D.採用のワーニング部はメーターケースに取り付けられ、視認性が良好です。
●コードの途中にコネクターが付いて、メンテナンス性が向上しています。
●走行中でも警告音が確認できる専用レシーバー付です。
●温度による作動範囲が−20℃〜+80℃と幅広く、防雨型の設計となっています。

超小型・警告用レシーバーでイヤホーンコード不要！

●専用の無線レシーバーを採用、わずらわしいコードから解放。
(コードなしで警告音をキャッチ)
●超小型設計で、ヘルメット内への取り付けも簡単です。
●レシーバーはオートパワーカットシステムにより、電池の消耗を防ぎます。(ATモード)
●警告音3段階調整可能。
●警告音は聞きやすいメロディタイプ。(イッツ・ア・スモールワールド)

フルオート機能で操作スイッチがありません！

●配線はバッテリーの⊕と⊖に継ぐだけで、その後の操作は不要です。
●オートパワーコントロール(A.P.C.)で、エンジン始動と共に電源が入り、エンジン停止で電源が自動的にカットされます。
●オートミュートコントロール(A.M.C.)で、感知後10秒間は通常警告を行い、その後自動的に警告の光をセーブしますので、自動ドア等の干渉もわずらわしくありません。　※レシーバーはセーブされません。

ステルス取締機及び新Hシステムにも反応！

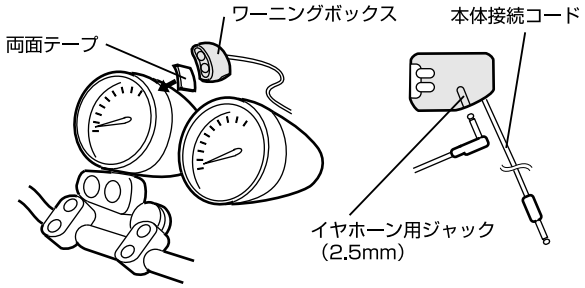
●超高感度タイプで、Xバンドに対応します。
●従来のオービスはもちろんの事、ステルス機、新Hシステムにも反応します。
(注:ステルス機は電波が発射されている場合にのみ有効です。)
●相互干渉防止回路内蔵で、他のレーダー探知機から漏れる電波による誤報を発しません。
●近づくに従って光の間隔が早くなり、接近を知らせます。

取締方法に対する反応目安

オービス（水平偏波）	◎	
オービス（垂直偏波）	◎	
新Hシステム	○	
ステルス	○（発射電波にのみ対応）	
移動式（水平偏波）	◎	
移動式（垂直偏波）	◎	
移動式（円偏波）	◎	
パトカーによる追跡レーダー計測	○	
パトカーや白バイによる追尾計測	×	電波を使用していないため検出不可
光電管を使用する方法	×	
ケーブル2点間計測方式	×	

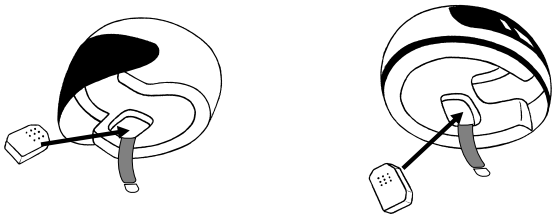
③ ワーニングボックスの取り付け

1.ライディングポジションをとり、見やすい角度に付属の両面テープでメーターケースなどに貼り付けます。
2.本体接続コードをワーニングコードに差し込みます。

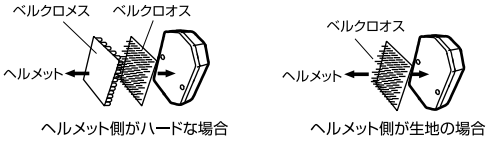


⚠注意	1.張り付け箇所の汚れや油分はよく拭きとってください。 2.ワーニングボックスのL.E.D.は、取り付け角度によって見えにくくなる事がありますので、角度をよく確認してから取り付けてください。

④ レシーバーの取り付けと使用方法

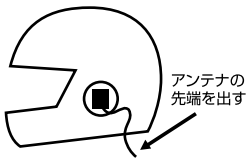


1.取り付けるヘルメットの耳抜きの部分にレシーバーがうまく収まるかを確認します。（アンテナはまるめないようにしてください。）
2.取付面の状況によりベルクロテープを利用して貼り付けます。



3.ヘルメットを装着して、 支障のない事を確認します。当たる場合は位置を少し移動して下さい。
※レシーバーの代りにイヤホーン（オプション）も使用できます。

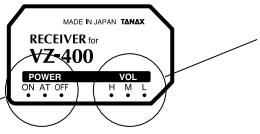
レシーバーの受信感度について



センサー本体の取り付け場所やレシーバーの取り付け方によっては、受信感度が安定しない場合があります。
その際は、ヘルメットからレシーバーのアンテナの先端を少し外に出すようにして下さい。

⚠注意	近くで携帯電話やタクシー無線などを使用している際にも反応を示す事もあります。 （レシーバーは320MHz帯を使用しています。）

レシーバーの使用方法



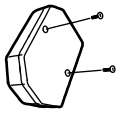
警告音ボリューム（3段階）
高（H）
中（M）
低（L）
3モード作動スイッチ

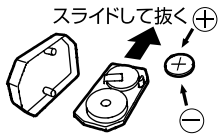
ON：手動により作動しますが通常はATにしてください。
AT：自動判断によるON、OFF。
OFF：停止

微振動を感知してON状態になり、約120秒程度静止状態が続くと自動的に停止状態になる省エネモードです。

レシーバーの電池交換

電池交換の目安 ：エンジン始動時にワーニングが2～3秒作動しますが、それに反応しなくなった時。
交 換 電 池 ：CR2032





1.裏面のネジをネジに合った大きさのドライバーではずします。
2.上フタをていねいにはずし、電池のみを取り出し、新しい電池と交換します。（⊕と⊖を間違えないようにして下さい。）

5 使用方法

1.フルオート機能で、配線後の操作は一切いりません。
2.通電確認のため、エンジン始動時にワーニング機能が2～3秒作動します。（光とメロディが作動）
3.レシーバーはできるだけATモードでご使用ください。

⚠注意	1.センサーボックスは防雨型となっておりますが、洗車時等、直接水をかけることはお避けください。 2.同一周波数(10,525GHZ)の下記のものにも反応しますので、あらかじめご了承ください。 3.携帯電話との併用はお避けください。 誤動作の原因となることがあります。

- ●マイクロ波のドップラー式自動ドア（コンビニのドアなど）
- ●マイクロ波のドップラー式車両通過計測機
- ●NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部
- ●気象用レーダーの一部
- ●湾岸レーダーの一部
- ●航空レーダーの一部
- ●大出力の違法CB無線

4.本製品はスピード違反を助長するためのものではありません。安全運転を心掛けて無理な運転はお避け下さい。

6 補修パーツの紹介

	部品番号	名称	価格	数量
1	MP-43	イヤホーン	450円	1本
2	MP-44	Aステー	170円	1枚
3	MP-45	Bステー	170円	1枚
4	MP-46	両面テープセット	50円	3枚
5	MP-47	バンドタイ	70円	4本
6	MP-89	ワーニングタイプ2	2,300円	1台
7	MP-90	レシーバー	5,000円	1台

●お求めはお近くのモトフィズ取り扱い店にお申し出ください。また、通信販売でもお求めになれます。

7 本品に対するご連絡・ご相談先

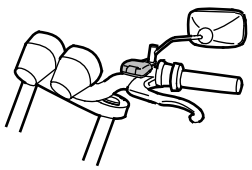
タナックス株式会社
TEL.0471-50-2450（月～金 9：00～18：00）
〒270-0151 千葉県流山市後平井107-3

8 保証について（化粧箱横面表示）

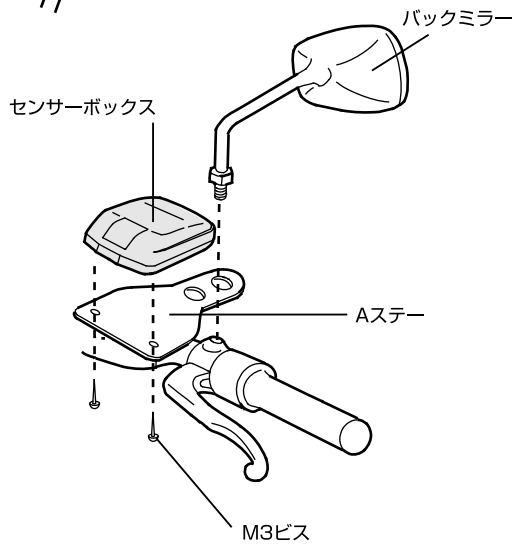
保証書、又はレシートは保証を受ける際に必要となりますので、必ずお手元に保管されるようにお願い申し上げます。
（保証書を使用する場合は切りはなしてご使用下さい。）

主な取り付け例と取り付け方法

ミラー部への取り付け

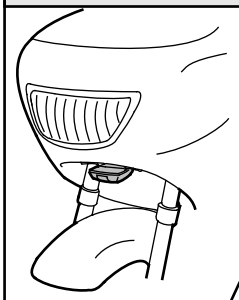


1.Aステーにセンサーボックスを付属のビス（M3タッピング）で取り付けます。
2.バックミラーをはずし、Aステーをはさみ込んでバックミラーを取り付けます。

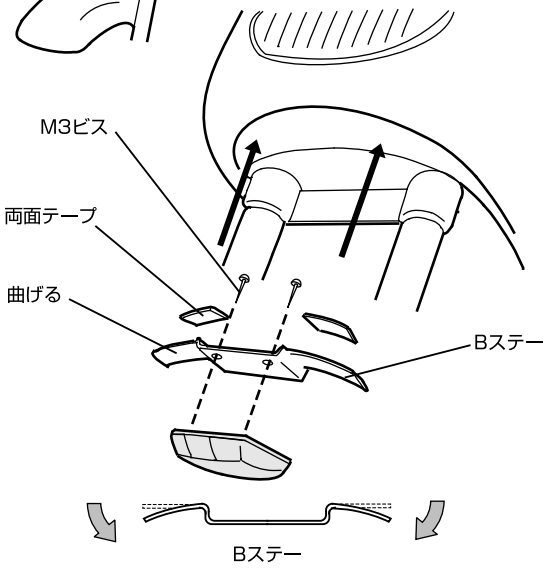


⚠注意　ハンドルの振動の激しいものには適しません。

カウリング部への取り付け

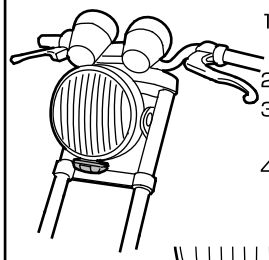


1.カウリングのライト下側の凹丸みに合わせて、Bステーを曲げます。
2.ステーに両面テープを貼ります。
3.センサーボックスを付属のビス（M3タッピング）で取り付けます。
4.取り付け箇所の汚れや油分を完全に拭きとり、貼りつけます。

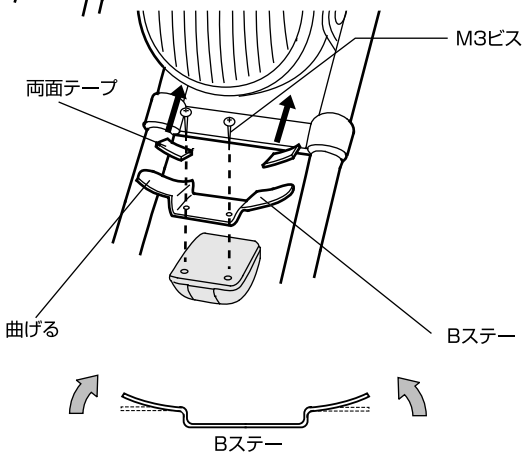


ライトボディーへの取り付け

（センサーボックスが裏側になりますが、性能に影響はありません。）

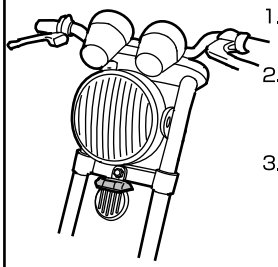


1.ヘッドライトのリムの丸みに合わせて、Bステーを曲げます。
2.ステーに両面テープを貼り付けます。
3.センサーボックスを付属のビス（M3タッピング）で取り付けます。
4.取り付け箇所の汚れや油分を完全に拭きとり、貼りつけます。

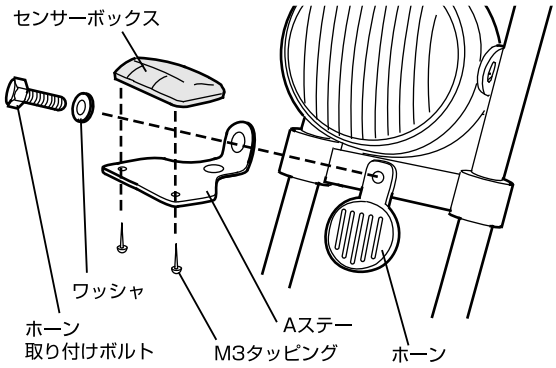


⚠注意　ステーに付いているコーティングフィルムは必ずはがしてお使いください。

車体ボルト利用の取り付け（ホーンボルト利用の場合）

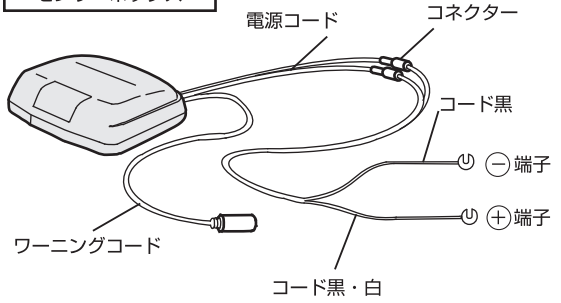


1.Bステーを取り付け位置に合わせ曲げておきます。
2.センサーボックスをステーに付属のビス（M3タッピング）で取り付けます。
3.ホーンを取り付けているボルトをはずしてステーをはさみ込みます。
（ボルトが6mm径の場合、ワッシャを使用してください。）

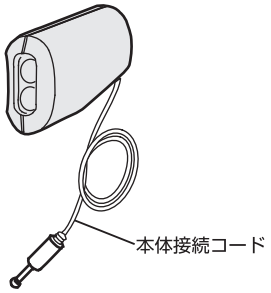


3　部品構成と各部の名称

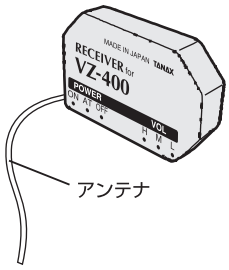
センサーボックス



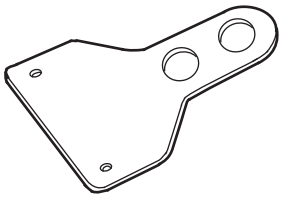
ワーニングボックス



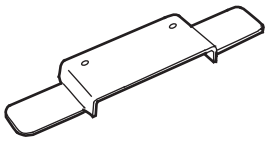
レシーバー



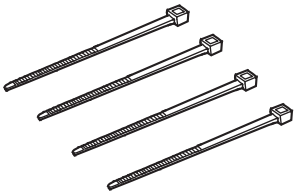
Aステー（ボルト対応ステー）



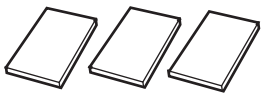
Bステー（テープ取り付けステー）



バンドタイ
（長さ150mm）4本



両面テープ
（18×32mm）3枚



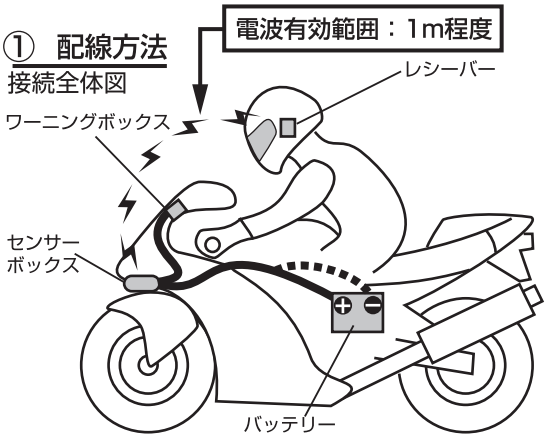
ワッシャ　×1

取り付け用ビス
M3×6mm　2本

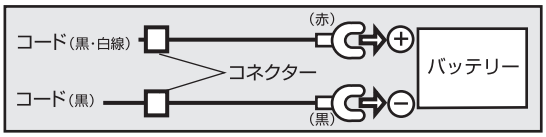
4　取付方法

①　配線方法

接続全体図



電源コードの端子をバッテリーの端子に接続します。
余分な線は付属のバンドタイを使って、フレーム等に固定してください。



参考　バッテリーレスの車輌については、
発電機から出てくる⊕と⊖に接続して下さい。

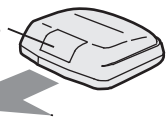
⚠注意	1.コードの色に注意して、接続間違いをしないようにしてください。 2.熱を持つ箇所にはコードを取り回さないようにしてください。

②　センサーボックスの取り付け

付属のステーを利用して、色々な所に取り付けられます。
また、ステーを利用しないでセンサーボックスを両面テープで直接車体に取り付けることもできます。

⚠ 取り付け上の注意

1.テープは、接着後24時間で接着力が最大となりますので、それまで荷重をかけないようにしてください。
2.センサーボックスはいずれの取り付けの場合も水平に取り付け、前方に障害物がないようにしてください。
（プラスチック製のカウル等、電波を通すものはOK）
3.取り付けの際は、必ずセンサー部が進行方向となるように注意してください。
4.本体をM3ビスで止める際は、締め過ぎに注意して下さい。ケースにヒビが入る恐れがあります。



⚠ 配線取回し上の注意

センサーボックスから出ている電源コードは、ハンドルを切った時、引張られないように取回しをする事。断線や水洩れの原因となります。

参考　水滴防止及びコードの断線防止のため、センサーボックス手前でコードをたるませる事をおすすめします。